

8. こども医療費助成制度について

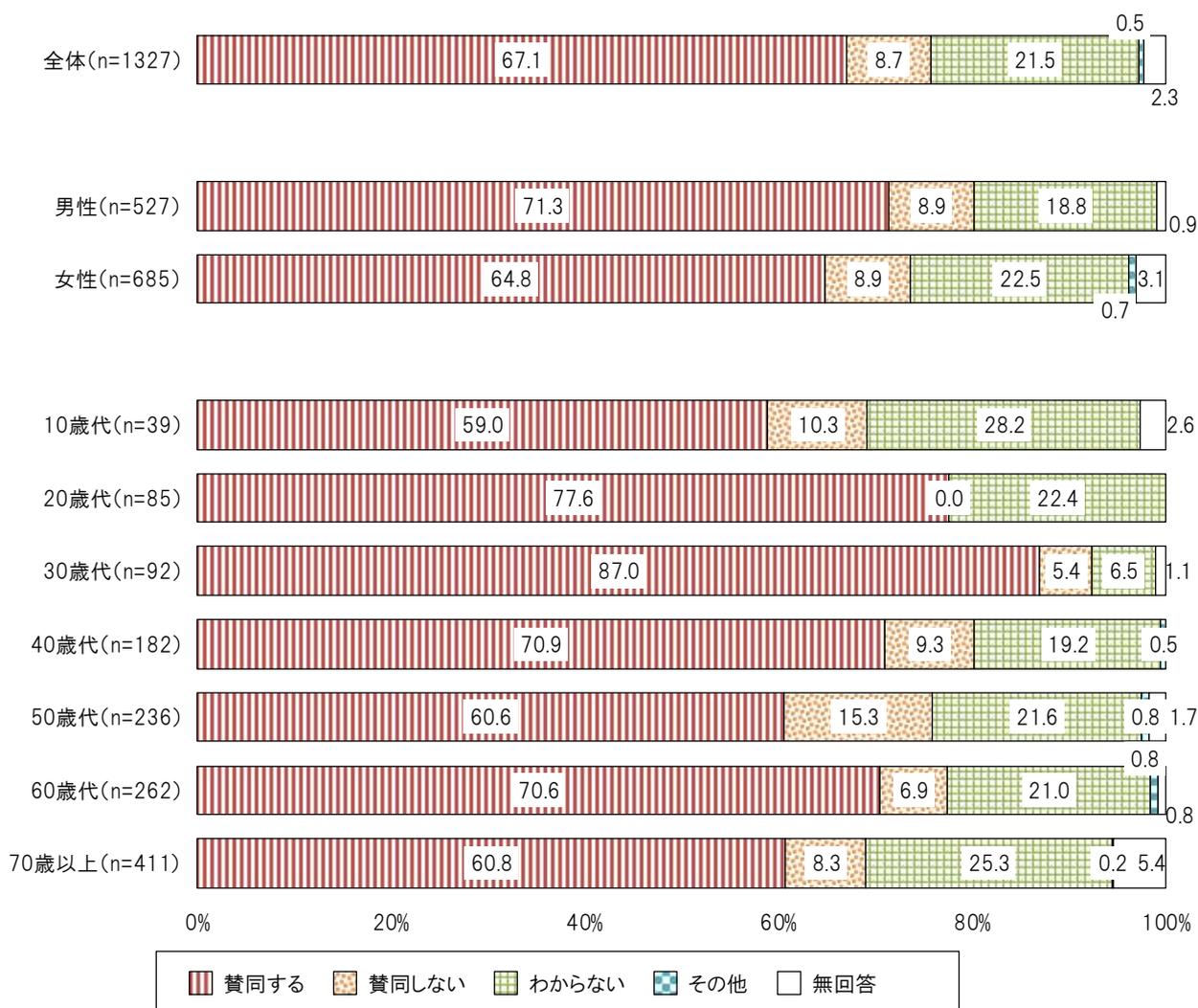
問34 松阪市は子育て支援に重点的に取り組んでいます。その一環として、こども医療費助成の範囲を拡大することに賛同しますか。(〇は1つだけ)

「賛同する」が67.1%と最も高く、次いで「わからない」が21.5%、「賛同しない」が8.7%となっている。

性別にみると、「賛同する」の割合は、男性が71.3%、女性が64.8%と男性の方が女性より6.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、20歳代、30歳代、40歳代、60歳代で「賛同する」の割合が高く7割を超えている。一方10歳代、50歳代で「賛同しない」の割合が1割を超えている。

問34 こども医療費助成の範囲拡大に賛同するか



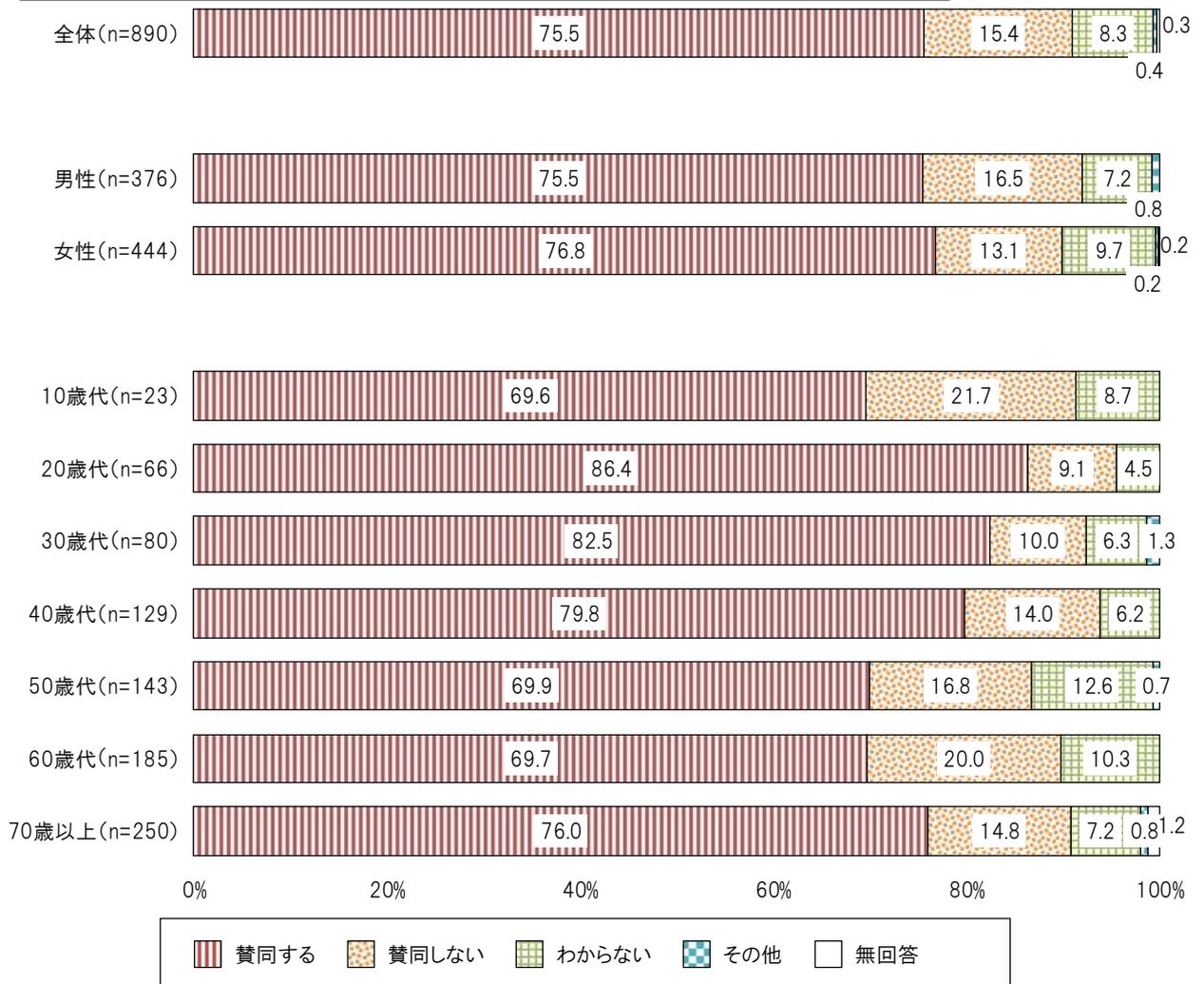
問 35 松阪市では保護者の所得によって、子ども医療費の助成を受けられる方と受けられない方に分かれています。所得に関係なく子どもの病気は突発的に起こるため、この所得制限を撤廃し、子どもを持つ全ての世帯を対象とすることを考えています。この考えに賛同しますか（○は1つだけ）

「賛同する」が75.5%と最も高く、次いで「賛同しない」が15.4%、「わからない」が8.3%となっている。

性別にみると、「賛同する」が男性で75.5%、女性で76.8%と女性の方が男性より1.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「賛同する」が20歳代、30歳代で特に高く8割を超えている。一方「賛同しない」は10歳代、60歳代で高く2割以上となっている。

問35 子ども医療費助成の所得制限を撤廃し、全ての世帯を対象とすることに賛同するか
(問 34 で「賛同する」と回答された方のみ)



問 36 松阪市では、未就学児において、保護者の所得が一定額以上の場合、1回の診療につき最大1,000円（保険適用分）までの窓口支払いをお願いし、窓口支払分は後日返金される無料化策を実施しています。なお、本市は県内で唯一この方式を採用し、かつ、これまでの子育てアンケートで「最も費用がかかる」と言われている高校生世代までの助成を、県内の主要都市の中でいち早く実施しています。一方で、子どもを連れての支払いの大変さから、「同じ無料なら窓口支払いを廃止してほしい」という声も寄せられています。本市としては、未就学児の窓口での支払いをなくすと、医療費が1.2倍～1.3倍に増加すると言われていることから、子ども医療費助成における所得制限の撤廃と高校生世代への全額助成を行うことを優先して考えています。この考えに賛同しますか（○は1つだけ）

「賛同する」が71.7%と最も高く、次いで「わからない」が17.0%、「賛同しない」が8.8%となっている。

性別にみると、「賛同する」が男性で73.7%、女性で69.1%と男性の方が女性より4.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「賛同する」が30歳代で特に高く8割を超えている。一方「わからない」は10歳代で高く3割を超えている。

問36 子ども医療費助成における所得制限の撤廃と高校生世代への全額助成
(問 34 で「賛同する」と回答された方のみ)

